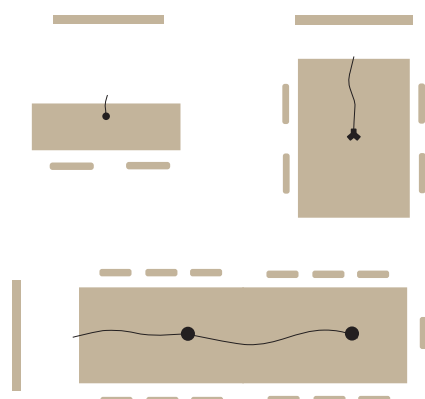


スムーズに会議を行うために、会議開始 10 分前から準備を始めよう

テレビ会議の準備

①参加人数に合わせてマイクを配置する

会議の参加人数に合わせて机を配置し、マイクを参加者の中央、モニタ寄りに置きます。
発言する人が限られる場合は、発言者の前に配置します。



指向性タイプのマイクは
発言者の前に置きます。

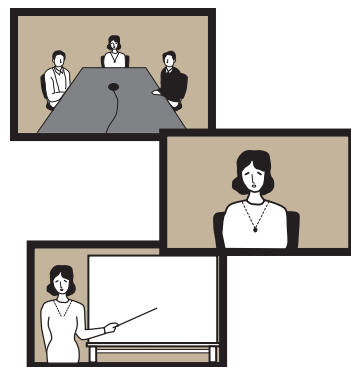
②電源を入れる

モニタやその他、会議で利用する書画カメラ等の周辺機器の電源を入れ、最後にテレビ会議本体の電源を入れます。
電源が入らない場合や正しく起動しない場合は、管理者や指定の連絡先にお問い合わせください。



③カメラ位置を合わせる

参加者の着席位置に合わせてカメラを調整します。
まず、モニタに自画面を大きく表示して、参加者全員が映る、発言者をアップ、ホワイトボードを大写しにする等、会議中に必要になりそうなカメラ位置をプリセットボタンに登録します。
適時カメラ位置を操作することで、スムーズに会議が進行できます。



④接続する

指定の接続先（拠点 or MCU の仮想会議室）に接続します。接続できない場合は、管理者にすぐにお問い合わせください。
* 相手からかかってくる場合は、⑥へ

⑤映像・音声をチェックする

接続先の映像がきれいに見えるか、音声はクリアに聞こえるかをお互いにチェックします。
* 接続後、3分ほど様子を見てください。
映像が乱れたり、音声がとぎれとぎれに聞こえる等の不具合がある場合は、管理者や指定の連絡先にお問い合わせください。



⑥PCの共有を確認する

会議中に PC 共有を行う拠点は、PC 画面がきちんと相手側に送信できるかどうかチェックしておきます。
うまくいかない場合は、ケーブルの接続を確認し、ノート PC の場合は外部出力設定を確認してください。

⑦マイクをミュートする

①～⑥を確認後は、会議開始までマイクをミュートにしておきます。

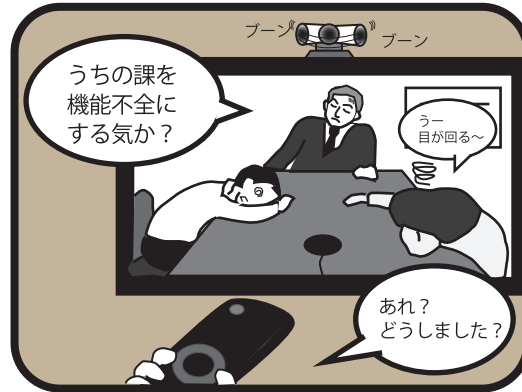


テレビ会議のちょっとしたマナー 6 選

カメラ調整は接続前に

テレビ会議専用機のリモコンでカメラを操作するのは楽しいです。しかし、これは接続前までに。接続先はこちら側の映像を大きな画面で見ているので、カメラを大きく振ると具合が悪くなる人も！

接続前にカメラ位置を決め、途中でアングルを変えたい場合は、プリセット機能を活用ください。

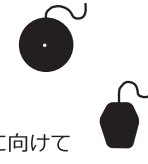


マイクの位置に注意！

マイクは必ず接続前に参加者全員の声が拾える場所に置いてください。

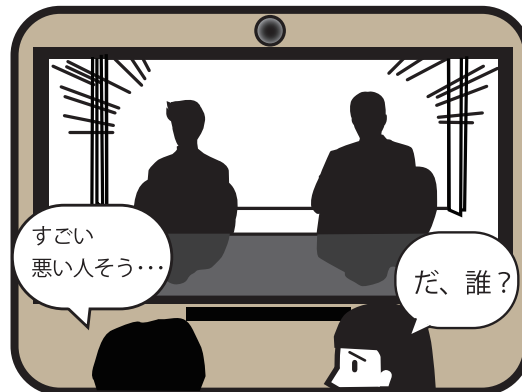
- ・360度カバータイプ
参加者全員の中央に配置
- ・前面指向性マイク
テレビモニタの前で参加者側に向けて

必ず接続前に動かしてください。
やむをえず接続後にマイクを動かす場合は、ミュートボタンを押してから。



光に気を配って準備を

午前中の会議のみ、参加者の顔が真っ黒に映ってよくみえない。これは逆光のせいです。窓のある部屋は、カーテンやブラインド等を利用して採光を工夫したり、カメラを設置する位置を再検討してください。せっかくのテレビ会議ですので、お互いの表情もみたいはず。



気が散るものは映さない

会議中に動くものが目に入ると、会議に集中できなくなる気持ち、わかりますよね？切り取られたアングルのみを見ながら行うテレビ会議では、それはとても顕著です。人が通る様子が見える窓や人が出入りするドア、常時動き続けるオブジェ等、それが会議の議題に関係がないのなら、カメラに映すべきではないでしょう。



関係ない音をたてない

テレビ会議のマイクはとても優秀。離れた場所の細かい音もきちんと拾って相手に届けます。資料をめくる音やボールペンをカチカチ鳴らす音もすべて相手側に伝えます。テレビ会議の接続先にいる相手が同じ部屋にいるつもりで、大きな音や不快な音は立てない、自分が話をしないときはマイクを OFF する等の気遣いが、ストレスなくテレビ会議を進めるポイントの一つです。



ストライプは不向き

カメラはストライプが苦手です。特に濃淡のはっきりした細めのストライプ柄は、接続先ではちらちらして目障りですので、テレビ会議にはお勧めできません。濃い色の上着等を上から着用しましょう。

テレビ会議映りがいいのは、紺や黒等の無地の濃い色合いの上着です。顔映りがとてもいいですよ。真っ白なシャツは色黒に映るので、女性の方は注意！



Web 会議のちょっとしたマナー 6 選

接続後には音声カット

ヘッドセットのマイクは近くの音を大きく拾い、思ったよりも大きな音を接続先に伝えてしまいます。

ヘッドセットを装着するなど準備を整えてから接続するか、接続後すぐにマイクボタンをクリックして音声をカットするようにしましょう。

Web会議によっては、接続時に必ずマイクをOFFにできる設定もあります。

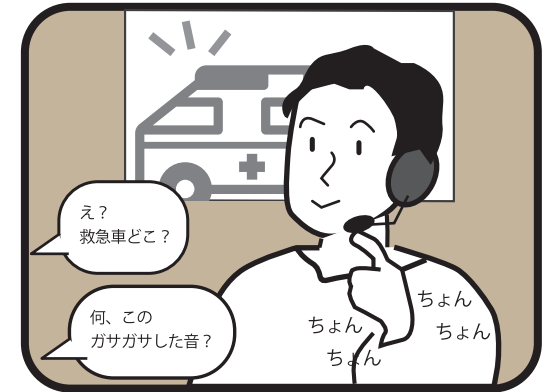


話さない時も音声カット

ヘッドセットのマイクは意外と遠くの音まで拾うことがあります。

また、自分では気づかない癖が思わぬノイズになっていることも。

自分が発言していないときは、マイクボタンをクリックして音声をカットしましょう。



カメラの画角に注意！

最近の Web 会議は解像度がいいので、背景の見せたくないものまで、バッチリ相手に見えてしまうことも…。

自宅からの接続ならなおのこと、接続前に相手にどのようなカメラ映像が送信されるのか確認し、見られたくないものがある場合は、背景画像を設定してから接続しましょう。相手にはつながった瞬間に見えます！



情報漏洩に注意！

接続相手は密室に一人では限りません。

ヘッドセットをしていても、周りへの音漏れや相手の受け答えから、話の内容を察することができます。また、PC画面は背後から見られていてもなかなか気づかないので、資料共有にも注意が必要です。

Web会議から参加している場合は、情報漏洩にいつも以上に注意しましょう。



品質が悪い時は映像 OFF

Web会議の品質は、回線的环境に左右されます。

常に状況が変動するインターネット回線では、突然、映像がフリーズして音声途切れたり、最悪切断されるケースも。

回線の状況が悪い場合は、カメラをOFFして映像データの送信を抑えて、音声のみで会議参加を続けましょう。

急にいなくなったと思われないよう、他の参加者にひと言断ることを忘れずに。



事前にデバイス確認

大体のWeb会議の設定画面には、利用するデバイス(カメラ・マイク・スピーカー)が正しく選択されているかどうかを確認できるメニューが用意されています。会議を時間通りに始められるように、このメニューを利用して、接続前に映像と音声の確認を行いましょう。

自信のない人は、自宅に持ち帰る前に会社でわかる人にみてもらいましょう。





VTV ジャパン株式会社 ホームページ

Web 会議やテレビ会議をはじめとした、ビジュアルコミュニケーションまわりの情報を掲載しています。

<https://www.vtv.co.jp>